

小鹿野町 議会だより

第70号

令和5年5月1日発行

発行/小鹿野町議会
編集/議会だより編集委員会



木の香り漂う、新たな庁舎が遂に完成

Contents

1月臨時会	②
3月定例会	③～⑧
審議結果一覧	⑨
一般質問	⑩～⑫

1月臨時会では、役場庁舎建設工事の工事請負変更契約の締結についてなどを審議し、3月定例会では令和5年度一般会計予算などを審議しました。

第1回1月臨時会

会期1月17日

本臨時会では、町長提出議案として、工事請負変更契約の締結についてなど3議案が上程され、慎重審議のうえ、全ての議案を可決しました。

条例の改正

小鹿野町町長及び副町長の給与の特例に関する条例

元職員（地域プロジェクトマネージャー）の有印私文書偽造に対し、任命権者及び管理監督者としての責任を明らかにするため、給与の減額をします。

町長は給料月額（65万円）の2割（13万円）、副町長は給料月額（56万5千円）の1割（5万6500円）をそれぞれ3ヶ月間減額します。

その他

工事請負変更契約の締結について

小鹿野町役場庁舎建設工事について、庁舎内ネットワークケーブル配線の追加等の精算や物価上昇に係る工事経費の調整により、変更契約を締結するものです。請負金額を当初の12億1547万8千円から、12億51万1400円追加し、12億2798万9400円とするものです。

【討論】（要約）

【原案に反対】

10番 岩田 和幸

まず最初に、この役場庁舎建設について、設計事務所があまりにいい加減だと思えます。

また、この工事については、入札で適正な業者が落札し、適正な請負契約をしたと感じています。そのため町が示した金額で施工者はやりますと約束をしたはずですが、しかし、建設課の話を聞いていると出来高払いのように感じます。

提案説明の中にある追加工事などは追加の随意契約でやるべきだと思います。区別をしないと当初の契約分と混同して分からなくなると思えます。執行部には改めて契約というものをよく考えてもらいたいです。

しかも、入札では現場設計仕様書等を熟知のうえ入札することになっていきます。ですから何か落ちがあったということでは話にならないと思います。以上のことから反対します。

【原案に賛成】

8番 皆本 富男

先日の議会全員協議会では、設計事務所や執行部において、お互いに設計

についてミスがあったとのこと。執行部については、厳しい言い方をすると、大きな工事に対する経験不足と認識の甘さが露呈されたと感じました。

しかし、昨今の経済状況と原材料における高騰はまさにインフレであります。そのような中での設計や金額に変更が出てもやむをえないと考えます。工事も終盤の段階の状況の中、住民の財産を守る庁舎の早期完成を町民は願っていると推測します。以上のことから賛成します。

【原案に反対】

9番 出浦 正夫

今回の増額分は最初の設計になかった追加の工事と物価上昇の追加分についての提案内容です。物価上昇の状況は厳しく、業者も大変だろうということとは想像できません。しかし、厳密な上昇分の計算があつたのかの質問に対して、的確な答弁はありませんでした。

また、今回の増額分の最も大きな金額は、構造壁、外壁非耐力壁間柱追加0.2mだったものが、787.2mに増えて、それが600万円です。これは設計事務所が設計書等から、これを落としてしまった事が原因で、非は設計事務所にあります。本来であれば設計事務所が非を認めて、応分の負担をしようと

てもしかるべき中身だと思えます。
今後、設計事務所にきちんとした応分の負担を求める努力はするという答弁がありました。現時点では町が全ての間柱分の費用を一方的に負担するという提案になっていきます。設計事務所が施工管理として、増額分をなるべく減らすよう努力したとのことですが、一概に減額すれば良いというものではありません。これでは請負制度そのものの信頼性が損なわれてしまい、道理が合わないと感じます。以上のことから反対します。

工事請負変更契約の締結について

町道704号線（落葉峠）災害復旧工事（その2）について、アンカー工の再施工及び片側交通開放対応等による経費加算と物価上昇に係る工事経費の調整により変更契約を締結するものです。請負金額を当初の3億4609万7400円から、1357万4千円追加し、3億5967万1400円とするものです。

【討論】（要約）

【原案に反対】

9番 出浦 正夫

この増額で多くを占めているのが鋼管杭運搬工事とクレーン工に関するこ

とです。請負業者も町も鋼管杭をどうやって運ぶか全く想定していなかったのは、信じられません。議会のチェック機能としては、簡単にその分を追加で認めるわけにはいきません。
また、物価上昇に伴う増額分約100万円についても、建設課で検討して、この金額にしたとの事ですが、税の使い方としては安い金額で立派なものを造るといのが本来の在り方です。以上のことから反対します。

【原案に賛成】

8番 皆本 富男

建設課長の答弁では、見積もりや確認の足りない面もあったとの事です。しかし、この704号線については災害による崩落です。こういった大きな災害による復旧工事を進めていくには、その進捗状況によって、現場の状況も変わってきます。状況の変化に伴い、工事の内容も変わり、当初と違った方法を取らざるを得ないことも発生します。以上のことから賛成します。

【原案に反対】

10番 岩田 和幸

まず、基本的な最初の計画が杜撰だということを示します。今回も足場が5メートルぐらい積算から落ちて

いた事等、当初に計画されるべきです。道路やアスファルトなど、国との協議で半年空いていた間に細かい詰めをすべきです。

最たるものが鋼管杭の運搬費用です。通常は、現場説明、仕様書、設計書等を入札前に配布して熟知の上で応札したはず。それが後になってから運搬費がないということは理解しがたいです。

舗装の契約方法も変更契約ではなく、別途の随意契約なら理解しますが、一緒に変更契約となると非常に問題です。以上の事から反対します。

第2回3月定例会

会期3月7日～10日

本定例会では、小鹿野町犯罪被害者等支援条例や令和5年度一般会計予算など町長提出議案が33件、議員発議2件が上程されました。慎重審議のうえ、全ての議案を可決しました。

令和5年度一般会計予算

一般会計では、前年度比5億7500万円減（7.5%減）の歳入歳出総額71億円の予算となりました。

主な施策

人口減少にまけない
小さくても輝き続けるまち

- ・住宅用地整備事業（1030万円）
定住促進事業を推進するため、旧長若中学校の敷地を活用した宅地分譲等の整備に対し、計画実施を行います。

- ・地域おこし協力隊事業（1540万円）
既存の移住促進に関する地域おこし協力隊員2名と新たに空き家対策に従事する隊員1名による活動を行います。

創出 本町の自然を活かした地域経済の

- ・森林管理道改良事業（9000万円）
森林管理道柏沢線上柏沢橋補修工事や森林管理道藤指線改良工事等を行います。

- ・ふきこもりまつり開催事業（600万円）
令和5年度からは、町全体でのふるさとまつりとして開催します。

地域商社推進事業（4092万円）

「株式会社地域商社おがの」の運営に対して支援を行います。今年度は埼玉県スーパースイッチプロジェクト推進補助金を活用し、温泉館の高付加価値化を目指します。

かがやく未来へ おがの人づくり

- ・学校施設整備事業（1億5755万円）
学校施設の改修整備を行います。今年度は旧倉尾小学校校舎・プールの解体工事や小鹿野小学校の校庭改修工事、教室照明LED化工事、小鹿野中学校校門フェンス設置工事などを実施します。

- ・指定文化財管理事業（1977万円）
町内の指定文化財【国1件、県21件、町119件の合計141件】の維持管理を行います。今年度は、札所32番般若山法性寺山門保存修理事業に対し、補助金を交付します。

- ・歌舞伎のまちづくり事業（1848万円）
歌舞伎を通じたまちづくりを推進します。今年度は、歌舞伎役者の尾上松也氏を招致した町民歌舞伎劇場を開催します。

すべての世代に配慮された 社会保障の充実

- ・集落支援員総合対策事業（200万円）
ひきこもり者への支援や倉尾地区を対象とした集落活性化事業に従事する集落支援員を配置します。今年度は、ひきこもり者に対する支援員を1名増加し、体制強化を図ります。
- ・子育て支援金給付事業（615万円）

子育て支援を行うことを目的に、子育て支援金を給付します。第1子と第2子に5万円、第3子以降に50万円を5年間に分けて支給します。

- ・けんこう交流館維持管理事業（286万円）

けんこう交流館は1階が社会福祉協議会の事務所として、2階は乳幼児検診や予防接種、健康教育等に活用しており、今年度はエレベーター設置に係る設計を行います。

快適で安心して暮らせる環境の整備

- ・空き家対策事業（1022万円）
空き家対策協議会の設置・運営を行うほか、空き家対策計画策定に向け町内の空き家の現況調査を実施します。

町単独道路整備事業

（1億1890万円）

町道の舗装や改良工事を行います。今年度は引き続き町道171号線（奈倉地内）改良工事や町道91号線（小鹿野小学校前）測量設計業務など14路線の舗装工事と3路線の改良工事を行います。

消防団員報酬事業（2489万円）

町消防団員の報酬は、今年度から階級ごとの年額報酬のほか、火災などの災害出動に対し、出動手当を支給します。

【原案に反対】

9番 出浦 正夫

地方自治体の予算は、住民に直結しており、全てが良いということや、全てが間違っているということとはまずあり得ないと考えられます。

長年の課題であったテレビ難視聴地域における地上デジタル放送共聴組合への助成が258万円計上されたことや、給食費の完全無償化等の子育て支援策は特に素晴らしい施策です。

しかし、町民の暮らしは今、電気代や物価の高騰により、本当に大変になっています。町の予算は町民が少しでも豊かで安心して暮らせるようにすることが大事だと思います。

また、国民健康保険の一般会計からの繰り入れ額は年々減額し、6年度度の予算ではゼロにするという計画です。農業者や自営業者から国民健康保険税は高いという話があり、国税負担増に繋がる一般会計からの繰り入れを無くすことは極めて問題だと思います。

水道に関しても、本予算では広域市町村圏組合に2億306万円を繰り出すことになっています。今までに既に約10億円を小鹿野町が出していると思

います。広域水道に請求されるままに負担金を出した結果、現在の水道料金は埼玉県で一番高い水道料金となっており、今後また値上げの計画が立てられています。今町民の暮らしが大変な中、国税の値上げや水道料金の更なる値上げにつながる本予算案には賛成できないため、反対します。

【原案に賛成】

3番 高橋 耕也

本予算案は、違法性や大きな偏り、また修正動議の対象になるようなものはなかったと認めます。

令和5年度予算の概要によると、人口減少に負けないまちづくり、町の自然を生かした地域経済の創出、ひとつくりや社会保障のさらなる充実、また、交通弱者に対してと観光需要との組み合わせによる交通インフラの整備などしつかり進めていくものになっています。

各世代や地域、経済生活にバランス良く予算配分され、職員一人一人が厳しい財政状況を認識し、事業の実施目的や効果検証についての再検討を行うという内容になっていると思います。

この先、小鹿野町が10年、50年、100年と中長期的に経った中で住み続けたい町、持続可能な町に本予算が反映されることを願います。

【原案に反対】

10番 岩田 和幸

テレビ受信組合に支援をすることは反対ではありません。しかし、支援の仕方が私の考えと異なっています。

元東京電力テレビ共聴組合は約30年近く東京電力から無料でテレビを見せてもらい、その後数千万のお金をもらい優遇され、今度は町が補助する。町民からなぜそんなに優遇が続くのかと反発されるのではないかと思います。町民に納得いただくには、まず組合の運営状況を把握しなければいけないと思います。

維持管理費、修繕費、火災保険料、設備撤去費など支出を減らす努力をした後に補助を出さないと問題です。また、今後の維持管理を考えると回線を光回線にするのが一番大事であり、町も真剣に考えなければならぬと思います。

また、プレーパーク事業でもプレーリーダーの候補者がいない中、プレーリーダーの育成よりも他の方法を考えるべきです。

新庁舎や落葉松峠の災害復旧工事など、町の計画はいつも基本計画がしっかりしていないと思います。以上のことから反対します。

【原案に賛成】

4番 笠原 義行

先行きが見通せない状況の中、令和5年度における主要政策3本の柱として①関係人口、交流人口の創出を図るための観光事業の推進 ②移住、定住し、住みたくなるまちづくりの推進

③安心して産み育てられるまちづくり
この三つの重要項目を明確にして、積極的に実行に移す姿勢は高く評価します。また、町民ファーストの行財政運営に向けた予算配分であると認めます。

予算に盛り込まれたテレビ難視聴地域への問題解決に向けた姿勢も評価したいと思います。

人口減少問題対策として宅地整備を事業化し、実行に移す姿勢は高く評価したいと思いますが、予算執行にあたっては町民に丁寧な説明を心がけ、ご努力いただくよう申し述べておきます。

私が青年会議所での活動を通して学び、職員の皆さんに伝えたいことは「あらゆる事にチャレンジし、うまくいかない事や辛く頭にくる事もある。そして一つの事業が終わった後は皆でそれらを共有し、称え合い、次の課題

に取り組む。また失敗や努力が報われない時も、悩みを抱えて辞めてしまいたい時もある。だけど仲間がそばにいる。その先に町民と子ども達の笑顔がある。そして仲間との絆が生まれる。」そんな明るい職場環境を整えていただきたいと強く思います。以上のことから賛成します。

【原案に賛成】

12番 強矢 好光

予算案について、小鹿野町特定地域づくり事業共同組合の補助金については、本当に問題だと思いますが、今後議会全員協議会で再度説明を行うとのことですので、賛成します。

また、施政方針の中に、「生産人口の急激な減少により大幅な減収が見込まれ、非常に厳しい財政運営になる。しかし、歳出においては事業の実施目的や効果について再検討を行い、歳出削減を図る」とあり、これは信じられると思いますので、賛成します。

【原案に賛成】

8番 皆本 富男

当初予算について、説明不足の点もありますが、執行するにあたっては、事業ごとに柔軟性を持って対応してもらいたいのです。そして本予算は「町民のための」令和5年度一般会計予算であると私は感じています。

各地域によってはお祭り等が延期、中止になっていくことが多々あり、残念なことです。祭りを盛り上げて、コミュニケーションの取れる生活をとります。町長以下職員、我々議員も一丸となって取り組まなければならないと思います。

また、町長が2期目に入り、初めて自分のカラーを出せる令和5年度予算であつて欲しいです。そうでなければ小鹿野町は前進しません。長尾根トンネルの着手、千束峠バイパス化は国県町が連携を取りやらなくてはならないと感じます。令和5年度の予算がストップするのは町民と思います。以上の点から賛成します。

条例の制定

小鹿野町犯罪被害者等支援条例

犯罪被害者等基本法に基づき、犯罪被害者等の支援に関する規定を整備するものです。また、見舞金として、犯罪行為により傷害を受けた方には10万円、死亡した遺族には30万円を支給するものです。

小鹿野町空家等対策協議会条例

空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、小鹿野町空家対策協議会を設置するためのものです。

主な条例の改正

小鹿野町敬老祝金支給条例の一部を改正する条例

敬老祝金の支給方法を現金に加え、金券でも支給できるようにするものです。

小鹿野町やすらぎの丘公園条例の一部を改正する条例

やすらぎの丘公園墓地の区画増設に伴い、区画種類の追加及び墓所利用資格を明確にするためのものです。

小鹿野町消防団条例の一部を改正する条例

消防団員の処遇改善を図るため、新たに出勤報酬を定めるものです。火災等の災害出勤について、団員へ1回4000円（対応時間が4時間を

超える場合は4時間ごとに4000円を加算）を支給するものです。

小鹿野町一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

国の人事院勧告および埼玉県人事委員会の勧告に準じて、給料月額および勤勉手当の支給割合を改正するものです。

小鹿野町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

一般職職員の勤勉手当支給割合の改正に合わせ、議会議員の期末手当の支給割合を今年度の支給分より年間0.1ヶ月分を引き上げ、現行の年間4.3ヶ月分から4.4ヶ月分にするものです。今年度は合計で23万3450円の増額で1人当たり2万1200円の増額です。

【討論】

(要約)

【原案に反対】

9番 出浦 正夫

人事院の勧告等は、公務員労働者からストライキ権を取り上げた代償として定められたものです。一般労働者にとつては、これは勧告されたらば勧告通りに値上げをしてもらうというのが非常に大事だと思います。しかし、議員は労働者ではありません。自ら決意をして選挙に立候補し、当選してこの

日に至っています。人々の暮らしが大変な状況の中で議員が自ら報酬値上げを行うというのは私は心情的に賛成できませんので反対します。

発議

小鹿野町議会委員会条例の一部を改正する条例

小鹿野町課設置条例の改正に伴い、常任委員会の所管する課を変更するものです。

総務常任委員会の所管課

おもてなし課をまちづくり観光課に変更

文化厚生常任委員会の所管課

こども課を新たに追加

請願

国に対し「防衛費2倍化反対、社会保障費の拡充を求める意見書」の提出を求める請願書

請願者 秩父社会保障推進協議会

会長 千島 正行

秩父地区労働組合連合会

議長 金子 寛次

紹介議員 出浦 正夫

本請願は、文化厚生常任委員会に付託となり、閉会中の継続調査となりました。

議会全員協議会

1月11日開催

出席者 議員全員

町からの報告事項

- ①庁舎建設に併せた西秩父商工会事務所の移転について
 - ②おがの化石館の所管替えについて
 - ③小鹿野町役場庁舎建設工事及び町道704号線災害復旧工事(その2)(1災271号)の現状について
 - ④秩父地域し尿処理事業広域化に伴う財産の移管及び人事体制について
 - ⑤小山清氏からの寄付金について
 - ⑥損害賠償請求事件に関する経過報告について
- ・その他
- ・岩田議員の活動報告に対して訂正と謝罪を求める件について
 - ・委員会での副議長の発言権について

3月2日開催

出席者 議員10名

岩田議員欠席

令和5年度の予算について

予算の内容について理解をより深めるため、執行部より主な施策についての説明を受けました。



令和5年3月議会定例会をもって、両神庁舎大会議室での本議会は最後となりました。令和3年5月臨時会から16回の本議会をおこないました。今後は、新庁舎議場で本議会を行います。



全国町村議会議長会
自治功労者受賞

岩田 和幸 議員



町村議会議員として15年以上在職し、地方自治の発展と町民の福祉向上に尽くされた功績が認められ、栄誉ある自治功労章を受賞されました。

予算・条例等の審議結果

(○は賛成、●は反対した議員)

議案名		議員名										
		今井敏夫	高橋耕也	笠原義行	高橋謙治	高根保生	猪野武雄	皆本富男	出浦正夫	岩田和幸	加藤喜一	強矢好光
1月臨時会	小鹿野町町長及び副町長の給与の特例に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	工事請負変更契約の締結について（小鹿野町役場庁舎建設工事）	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
	工事請負変更契約の締結について（町道704号線災害復旧工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
3月定例会	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度小鹿野町一般会計補正予算（第7号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	小鹿野町犯罪被害者等支援条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	小鹿野町空家等対策協議会条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	小鹿野町おがの化石館条例の全部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	小鹿野町役場の位置を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	小鹿野町情報公開・個人情報保護審議会条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	小鹿野町防災会議条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	小鹿野町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	小鹿野町町長及び副町長の給与等に関する条例及び小鹿野町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	小鹿野町一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	小鹿野町消防団条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	小鹿野町特別職の職員で非常勤のものの報酬に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退席
	小鹿野町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	小鹿野町敬老祝金支給条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	小鹿野町介護保険運営協議会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	小鹿野町やすらぎの丘公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	小鹿野町小鹿野用水頭首工管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度小鹿野町一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度小鹿野町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度小鹿野町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度小鹿野町介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度小鹿野町浄化槽設置管理等特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度国民健康保険町立小鹿野中央病院事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度小鹿野町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度小鹿野町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度小鹿野町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度小鹿野町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度小鹿野町浄化槽設置管理等特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度国民健康保険町立小鹿野中央病院事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度小鹿野町営国民宿舎事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設の指定管理者の指定について（小鹿野倉尾ふるさと館）	除斥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
公の施設の指定管理者の指定について（小鹿野デイサービスセンター）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
専決処分の承認を求めることについて（小鹿野町役場新庁舎備品購入事業（その2）変更契約の締結について）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
小鹿野町議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
国に対し「防衛費2倍化反対、社会保障費の拡充を求める意見書」の提出を求める請願書	文化厚生常任委員会に付託											

※ 加藤喜一議員は議長のため採決に加わっていません。
 ※ 条例の内容については町ホームページの「小鹿野町例規集」でご確認いただけます。

町政に対する一般質問

一般質問一覧 (質問順)

岩田 和幸 ・株式会社地域商社おがのについて ・テレビ受信について ・旧校舎について	高橋 謙治 ・小学校の再編整備について ・地域商社おがのについて
笠原 義行 ・ペーパーレスについて ・学力向上に向けた当町の取り組みについて ・子育て世帯の経済格差について ・テレビ難視聴地域問題について	出浦 正夫 ・株式会社地域商社おがの、特定地域づくり事業協同組合について ・山岳遭難防止、清滝小屋再開、自然環境、自然保護について ・教育行政について ・役場両神庁舎の活用について
猪野 武雄 ・町経済の活性化に関して ・少子化対策に関して ・地域防災に関して ・地域医療に関して ・教育に関して ・幹線道路の整備等に関して	

○10～12ページに各議員から提出された一般質問の要約を記載します。

町政に対する一般質問

3月
定例会



【次代へ歩む 新小鹿野町の創造】

笠原 義行 議員

質 子育て世帯の経済格差について、現在、低所得者世帯の児童生徒はどのくらいいるのか伺います。

答 低所得者世帯を就学援助費が支給されている要保護世帯と準要保護世帯と捉え、それらに該当する児童生徒は令和5年3月1日時点で40世帯67人です。

質 昨今のコロナ禍の影響や物価高等、子育て世帯の経済的負担増は、子ども達の学びの機会をも脅かしかねない問題だと感じます。とある調査では日常生活に必要な支出は努力してもなかなか抑えられず仕方なく子どもの教育費を削減せざるを得

ないという家庭も多いようです。そもそも生活困窮世帯や低所得世帯等のお子様や塾や習い事に通わせてもらえないという問題があり、昨今の状況はさらに深刻になつてきているのではないかと危惧しております。ご家庭の経済的事情で子ども達の学びの機会に差を生じさせない施策が必要と考えますがご所見を伺います。

答 確かに学びたい意欲があつて家庭的な事情等で学ぶ機会を失っている子どももいると思います。そういう家庭には学校外教育クーポンのような制度は有効な施策だと思います。

ます。そのような施策も幅広い意見等伺いしながらしっかりと検討してまいります。

質 テレビ難視聴地域問題について、多くの議員から一般質問等にて問題解決に向けた議論をしてきております。当町の重要な課題の一つとして本問題の解決を町長の公約として掲げ取り組むべきと考えますが町長のお考えを伺います。

答 本問題は当町のみならず全国的な課題でもあります。国や放送事業者において対策を講ずる必要があるかと考えますので早期に支援策が示されるよう関係機関と連携し、町の重要政策課題として取り組んでまいります。





全ての子ども達が安心して
教育を受けられるために！

猪野 武雄 議員

質 当町の小中学生の中に発達障害や不登校、ヤングケアラーに該当する子ども達の存在と、その具体的支援状況について伺います。

答 生活や学習面で困難を感じる発達障害の子どもが一定数存在するため、きめ細やかな指導など寄り添った対応を行うと共に正確な把握に注力しています。また、不登校児は12名おり、組織的に指導に取組む一方、学業不振への対応など未然防止に配慮しています。家庭内で家事や家族の世話をするヤングケアラーは、今後、予想される子どもが2名存在します。これら以外にも見逃さないよう実態把握と寄り添った支援に努めます。

質 町立病院は、訪問診療・看護事業にも取り組もうとしていますが、公立病院の再編・統合の対象となる中での転換なのか伺います。

答 本取組みは、これまでに質の高い在宅医療を可能とする上、町立病院としての特色を出す一方、安定した地域包括ケアシステムを継続して提供するものです。町消防団では、人口減少等に伴い、更なる改変・統合や詰所の改築整備が必要と考えますが。考えを伺います。

質 平成16年の再編・統合から20年近く経過した上、今後消防団員の減少が見込まれるため、新たな見直しが必要と考えます。また、詰所は、経年劣化等で不具合なものもあり、

更新の必要性も認識しております。組織の再編・統合と共に検討して参ります。

質 長尾根バイパスや(仮称)千束峠バイパスの取組み状況を伺います。

答 長尾根バイパスは、ローン活用によるレーザ測量と道路設計を基に3月下旬に地元説明会を開催予定です。千束峠バイパスは、予備設計が完了し、現地測量と詳細設計を実施予定とのこと。



確かな土台づくりと
堅実な経営を！

高橋 謙治 議員

質 地域商社おがのについて社長候補として採用された地域プロジェクトマネージャーが懲戒免職処分となりました。今後の事業を推進体制、これまでの取り組みと成果、経営計画、事業計画の見直しについて伺います。

答 今後の事業体制については、現在の代表取締役一人のみの会社である事を早急に改め、代表取締役以外に取締役を置く体制づくりや、振興公社からの出向職員の地域商社

への移籍の説明、就業規則などの作成を進めます。当面の事業推進計画については、会社の経営体制や指定管理事業を安定的に行うことを第一とし、その後定款にある他の事業に手をつけるのが望ましいと考え、令和5年度から予定していた国民宿舎両神荘、長尾根施設については、指定管理委託を見送ることとしました。

これまでの取り組みと成果については、道の駅

事業は、若干の黒字が見込めるといふ状況ですが、今後は町からの指定管理料の算入をせずとも運営できる体制とするため、指定管理料を段階的に減額し町の財政負担を減らすことを第一に考えて進めてまいります。

また当面は執行体制や事業推進体制の見直しとともに、地域活性化企業人の支援により、5年程度程度の収支見通しや、中期経営計画の作成を行い事業の推進を図ります。

質 小鹿野町政策審議会の「産業振興の活性化について」の最終答申にある「地域商社おがのの基本方針」では、「官民一体、町が一丸となり、町民で作り上げるといふ熱意を持つ」ことが大切だと記載されています。手段として町民から出資してもらう考えは。

答 会社そのものの基盤が固まってない状況であり、今の段階では無理ではないかと考えています。



両神庁舎への職員配置・
多面的機能を！

出浦 正夫 議員

質 役場両神庁舎の今後の活用について伺います。

新庁舎完成に伴い庁舎の移転が行われますが、両神地区住民の利便性保持、観光振興の為に両神庁舎に一定人数の職員を配置し、支所あるいは分室その他の機能を果たす必要があると考えますが、町長のお考えを伺います。

答 以前おもてなし課が行っていた各種証明書等の発行に関する窓口業務や両神振興会館の貸出し業務等については、両神地区住民の利便性を図る上からも現両神庁舎で行う予定であります。

組織名称といたしましては、両神振興会館管理室という室を設け、職員を数名配置してまいります。配置する職員には、窓口業務のみならず地域

住民の方の対応には柔軟な対応を行うよう徹底してまいります。

質 以前、私が同様の質問を行いました。その時

よりたいへん前向きな回答をいただきました。ありがとうございます。さて、質問の中で「その他の機能を果たす必要がある」としました。職員は、課長職経験者長に伴い、課長職経験者が役職定年後に勤務されていることになりました。

その方々が両神庁舎で窓口業務のみならず、豊かな経験を生かして、町民からの相談を何でも受ける等の機能も果たす必要があると考えますが、お考えを伺います。

答 法律・条例改正により

定年延長となりますが、課長職経験者の処遇については検討する必要がありますが

ります。庁舎から離れた場所でも窓口業務だけでなく住民への相談業務や職員の健康管理・メンタル

ヘルス、後輩の人材育成等の機能も果たせるような形で人材を活用できたらと考えております。

■ 議長交際費の公開 ■

令和5年1月～3月

1月20日	埼玉県町村会議議長会議長視察研修懇談会費	5,000円
3月24日	ちちぶ定住自立圏関係者懇親会 会費	6,000円
計		11,000円
令和4年度 支出合計		75,500円

議会の傍聴をしませんか！

町の議会は、年4回の定例会（3月・6月・9月・12月）と、必要に応じて臨時会が開かれます。

町政の動きを知るためにも、気軽に傍聴してください。

次回定例会は、6月上旬に小鹿野町役場議場で開催予定です。

※小鹿野文化センター・両神振興会館（旧両神庁舎）のテレビモニター中継もご利用ください。

議会会議録が閲覧できます！

小鹿野町議会ホームページで、平成21年以降の議会会議録が閲覧できます。ぜひ、ご利用ください。

右のコードまたは「小鹿野町議会」で検索ください。



編集後記

新庁舎での業務がスタートし、早いもので1か月が過ぎました。木の香り漂う温かみのある庁舎はお越しいただいたすべての方々をもちなして頂けるのではなにかと感じます。今後もしらなる町民サービス向上を目指し、職員一同心新たに努めていただけるのではと期待しているところでもございます。さて本編集委員会も新しい議場にて開催され気持ち新たに編集作業に努めてまいりました。当議会としても、町民の皆様により添い、安心、安全で生活できる小鹿野町のため、改めて気持ちを引き締めていかなければと感じます。

町民の皆様にも、これを機に新庁舎に足を運んでいただき、議会傍聴をはじめ、町政、議会に関心を持っていただき、貴重なご意見を賜りたくお願い申し上げます。編集後記とさせていただきます。

▼ 議会だより編集委員会

- 委員長 今井 敏夫
- 副委員長 高根 保生
- 委員 皆本 富男
- 出浦 正夫
- 加藤 喜一
- 笠原 義行